

## ----- 津 波 -----

チリ地震による津波については早くから日本への到達時間や津波の高さが30分単位で予測されてきました。しかし、津波がハワイを過ぎても、細かい予測にはなりません。日本の遙か沖合の海底に観測機器があれば、そこを何時、どんな津波が通ったか分かり、その情報を基に、予測も修正できます。でも、それはありませんでした。又、津波の高さの予測値は検潮所での値だそうですが、問題は、検潮所から離れた、港の岸壁や、川筋での潮位です。実際宮古の検潮所では70センチだったのに、湾の奥では2メートルとなり、湾奥では養殖筏の被害などが大きかったそうです。これらを観測し、予測するにはきめ細かい観測態勢が必要です。しかし、気象庁は1996年以来、予算削減の為、次々と測候所を廃止しています。測候所など、国民の安全を守る為の機関は削減してはいけないと思いませんか？

## --- 京浜急行弘明寺踏切 ---



踏切の矢印のランプで「上りの電車が来る」と表示され、電車の通過を待っています。その電車が来て来て「あれが過ぎれば遮断機が上がる」とほくそ笑んでいたら「下りの電車が来る」矢印ランプが点いてがっかり・・・。そんなとき、踏切の先をじっくり見ると、いつも見過ごしていた景色が見えます。

## ----- アンデパンダン展 (salon des artistes independants) -----

アンリ・ルソーの呼びかけで既成のあらゆる権威や名声、アカデミズムや商業主義の勢力に対峙して表現の自由と独立をうたい1884年に第1回アンデパンダン展がパリで開かれました。日本でも今年、第63回日本アンデパンダン展が開かれます。そこに、小生は3枚の水彩画を初出品します。タイトルは「あれが大栈橋」(赤レンガ倉庫前から)「取り戻そう美ら海(ちゅうらうみ)」(沖

## 開催日、時間 と 私の待機予定

月日(曜)	[ 開催時間 ]	午前/午後(×は不在、△は未定)
3/17(水)	[13:00-18:00]	/×
3/18(木)	[10:00-18:00]	△/△
3/19(金)	[10:00-20:00]	△/○
3/20(土)	[10:00-18:00]	×/○ (13:00-15:30 のみ)
3/21(日)	[10:00-18:00]	×/△
3/22(月)	[10:00-18:00]	○/○
3/23(火)	休館日	
3/24(水)	[10:00-18:00]	×/×
3/25(木)	[10:00-18:00]	△/△
3/26(金)	[10:00-20:00]	×/○
3/27(土)	[10:00-18:00]	○/○
3/28(日)	[10:00-18:00]	○/○
3/29(月)	[10:00-14:00]	×/△

縄辺野古の海)「揚錨機」(氷川丸、この絵は年賀状に使った物ですが、その後手を加えました)です。ご高覧いただくと幸いです。開催場所は国立新美術館(地下鉄乃木坂駅、六本木駅下車)です。来場される方は携帯 090-1995-0871 に連絡いただければご案内します。